

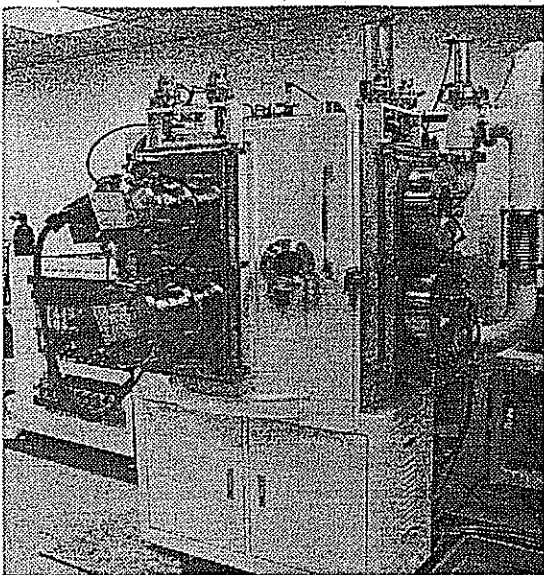
金属コーティング

共同で受託加工

来月から、年1億円目指す

東葛テクノプラザ 入居の3社

【千葉】千葉県の公的インキュベーション施設「東葛テクノプラザ」（柏市）に入居するベンチャー企業が協力して、9月から多種多様な金属コーティングの受託加工事業に乗り出す。ナノテック（埼玉県南埼玉郡白岡町西8の19の8、中森秀樹社長、0480・93・2911）など異業種3社が真空プラズマを利用したコーティング加工設備を開発、新事業に着手するもので、年間1億円の受注を目指す。同施設の入居企業が異業種交流で新技術を開発する例は散見されるが、共同事業に発展するケースはまだ少なく、収益力の向上を模索するベンチャー企業のテストケースになりそうだ。



ナノテックが開発した
新型コーティング装置

新規事業に進出するのは、作や精密試作加工の坂口技

ナノテックのほか、金型製 研（柏市）、シヨットプラ

ストマシメーカーのニッ
サンキ（同）の3社。ナノ
テックがコーティング装
置、坂口技研が治具を製
作、ニッサンキがプラズ
マ技術をそれぞれ持ち寄り、

ニュービジネス化する。
加工ラインは坂口技研の
第2工場（同）内に構築。
3社の協力により、「単独
では1億円かかる設備投資
が、4000万円程度で済
んだ」（中森秀樹ナノテッ
ク社長）という。坂口技研
がオペレーションを担当、
ナノテックに一定の使用料
（ロイヤルティー）を支払
う。

受託加工は低摩擦係数で
高硬度、耐食性に優れてい
る「ダイヤモンドドライカ
ーボン（DLC）」膜を中
心に、チタンやクロム系の
薄膜・合金膜など6種類の
コーティングができる。こ
れだけの種類が一度に対応
できる装置は国内にはない
という。ニッサンキの協力
で、再コーティング時にワ
ークから被膜をはがした
り、装置内を洗浄すること
を可能にした。

「エンツニアリング企業
を目指す」（坂口正明坂口
技研社長）としている。